



2023年10月27日

各 位

会 社 名 株式会社アスタリスク
代表者名 代表取締役執行役員社長 鈴木 規之
(コード：6522、東証グロース)
問合せ先 取締役執行役員管理統括室長 山本 和矢
(TEL. 050-5838-7864)

(訂正・数値データ訂正)
「2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2023年10月13日に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正理由

「2023年8月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に、連結貸借対照表の流動資産の科目の表示並びに、一部の連結子会社の繰延税金資産の計上額に誤りがあることが判明したため、訂正を行うものであります。

2. 訂正箇所

「1. 訂正理由」に記載の項目を訂正した結果、連結損益計算書の親会社株主に帰属する当期純損失が9百万円増加しております。また、連結貸借対照表の総資産及び純資産が9百万円減少しております。

なお、訂正箇所については、添付いたしました訂正後の全文をご参照ください。訂正した箇所に下線を付して表示しております。

以 上



2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月13日

東

上場会社名 株式会社アスタリスク 上場取引所
 コード番号 6522 URL https://asx.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 鈴木 規之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括室長 (氏名) 山本 和矢 (TEL) 050-5838-7864
 定時株主総会開催予定日 2023年11月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年11月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期の連結業績(2022年9月1日~2023年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	1,759	△26.9	△192	—	△179	—	△170	—
2022年8月期	2,407	34.3	400	76.6	473	98.3	322	85.5

(注) 包括利益 2023年8月期 △168百万円(—%) 2022年8月期 320百万円(81.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年8月期	△24.01	—	△8.5	△6.9	△10.9
2022年8月期	46.82	45.06	25.3	23.7	16.6

(参考) 持分法投資損益 2023年8月期 ー百万円 2022年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期	2,719	1,934	71.2	272.16
2022年8月期	2,519	2,072	82.2	293.71

(参考) 自己資本 2023年8月期 1,934百万円 2022年8月期 2,072百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年8月期	△687	△491	491	251
2022年8月期	300	△518	780	936

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,207	39.0	11	—	9	—	0	—	0.06
通 期	2,645	50.3	100	—	96	—	67	—	9.52

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期	7,109,400株	2022年8月期	7,055,400株
② 期末自己株式数	2023年8月期	一株	2022年8月期	一株
③ 期中平均株式数	2023年8月期	7,084,169株	2022年8月期	6,889,230株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2023年10月13日（金）に機関投資家・個人投資家・アナリスト向けに説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスが感染法上の5類に移行され、収束に向かい社会経済活動の正常化が進んでおります。一方で、資源価格の高騰や円安による物価上昇が続いており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。当社グループにおきましても、円安の影響による仕入原価の上昇など厳しい事業環境が続いております。

こうした経済環境のもと、当社グループは「モノ認識」と「モバイル」を軸とした事業展開を行っております。バーコードリーダー、RFIDリーダー/ライター、赤外線通信リーダーなどの「AsReader」の販売と、当該製品を活用するためのアプリケーションやシステムの提供により、お客様のDXを推進、省力化・効率化を進めてまいりました。また、次期主力製品のための画像認識技術の研究・開発を進めております。顔認証技術を用いた製品「AsReader GoMA」につきましては、2023年8月期に当社事務所において稼働を開始しており、2024年8月期に拡販してまいります。またセミセルフレジの実証実験を行うための店舗運営を行うことを目的として設立した子会社「株式会社自動レジ研究所」において、2024年8月期にセミセルフレジの実証実験を行うと共に、当該システムの販売開始を目標に、開発を進めてまいります。

さらに、中長期的な成長を維持する観点から、営業・研究開発・広報面での人材強化や、大きなシナジーを生む可能性のある企業との資本業務提携、新たなDX提案に向けた研究開発の促進をはかってまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,759,851千円(前連結会計年度比26.9%減)、営業損失192,078千円(前連結会計年度は400,204千円の営業利益)、経常損失179,540千円(前連結会計年度は473,724千円の経常利益)、親会社株主に帰属する当期純損失170,071千円(前連結会計年度は322,542千円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(AsReader事業)

AsReader事業の連結売上高は1,344,608千円(前連結会計年度比32.5%減)、セグメント損失は33,514千円(前連結会計年度は576,753千円のセグメント利益)となりました。当社主力商品である「AsReader」の販売では、国内向けでは、製造業界、自動販売機業界、医療業界、食品業界、卸売業界への販売が堅調に推移したほか、小売業界、卸売業界への新規納入がありました。海外向けでは、飲料メーカーへの追加納入がありました。

一方で、新製品の販売が当初の計画よりずれ込んだことによる開発費用の追加発生及び、滞留在庫に対する商品評価損の計上などの影響により、セグメント損失が発生する結果となりました。

(システムインテグレーション事業)

システムインテグレーション事業の連結売上高は409,716千円(前連結会計年度比1.3%減)、セグメント利益は40,657千円(前連結会計年度比39.5%増)となりました。ソフトウェアの受託開発につきましては、ハードウェアとの融合による新しいビジネスモデルへの転換を図り、利益体質の構築を目指してまいりました。

物流業界向け、小売業界向けなどのシステム開発の受注があり、一部で進捗が遅れている案件もありますが、概ね堅調に推移しました。また、前連結会計年度は一部不採算案件に対して受注損失引当金を計上していましたが、当連結会計年度末において状況が改善したことにより、当期のセグメント利益が前年同期と比べ、大幅に改善する結果となり、セグメント利益については40,657千円を計上することができました。

(賃貸事業)

2023年8月期第2四半期連結会計期間に竣工したAsTech Osaka Buildingの建設地が大阪市の定める特別用途地区(中高層階住居専用地区)に該当することから、7階～9階の3フロアを住居として賃貸することとなりました。当該賃貸開始に伴い賃貸事業セグメントを追加しております。

2023年1月から入居者の募集を開始し、2023年8月期末において入居率100%となった結果、賃貸事業の連結売上高は5,526千円、セグメント損失は1,382千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、2,719,298千円となり、前連結会計年度末に比べ199,745千円増加いたしました。

主な要因は、商品及び製品の増加369,928千円、有形固定資産の増加306,312千円、資本業務提携による投資有価証券の増加101,250千円、未収還付法人税等の増加67,441千円、その他流動資産の前渡金の増加45,222千円、繰延税金資産の増加27,888千円、無形固定資産の増加19,055千円、その他流動資産の未収還付消費税の増加18,667千円、原材料及び貯蔵品の減少10,747千円、売掛金及び契約資産の減少61,134千円、現金及び預金の減少684,370千円、によるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、784,393千円となり、前連結会計年度末に比べ337,060千円増加いたしました。

主な要因は、短期借入金の増加460,000千円、契約負債の減少21,145千円、買掛金の減少33,797千円、未払法人税等の減少95,472千円によるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,934,904千円となり、前連結会計年度末に比べ137,315千円減少いたしました。

主な要因は、資本金の増加15,525千円及び資本剰余金の増加15,525千円、利益剰余金の減少170,071千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ、684,370千円減少し、251,715千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は687,498千円(前連結会計年度は、300,046千円の獲得)となりました。

これは主に、売上債権の減少63,566千円、その他流動負債の未払金の増加28,245千円、その他流動資産の未収還付消費税の還付13,317千円が資金増加の要因、その他流動負債の契約負債の減少21,145千円、仕入債務の減少44,088千円、その他流動資産の前渡金の増加45,222千円、法人税等の支払160,898千円、税金等調整前当期純損失177,545千円、棚卸資産の増加357,834千円が資金減少の要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は491,043千円(前連結会計年度は、518,668千円の使用)となりました。

これは主に、貸付金の回収による収入12,095千円が資金増加の要因、無形固定資産の取得による支出23,429千円、投資有価証券の取得による支出101,250千円及び有形固定資産の取得による支出351,789千円が資金減少の要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は491,050千円(前連結会計年度は、780,593千円の獲得)となりました。

これは主に、株式の発行による収入31,050千円、短期借入金の純増加額460,000千円が資金増加の要因であります。

(4) 今後の見通し

さまざまな業界でDX(IoTを活用した自動化、業務効率化)の流れが加速している中で、当社の主力商品の

「AsReader」は、かかる世の中のニーズに対し、専用コンピュータがパソコンに置き換わったように、ハンディターミナルのような既存の各種専用端末が汎用性の高いスマートフォンに置き換わり、「スマートフォンで業務を行う」ことで、多様なソリューションを提供することにより、市場競争力の強化、シェアの拡大を見込んでおります。

また、次期主力商品として自動認識技術（人検出・動体追跡、顔認証）を活用した商品の開発を進めております。第17期においては「顔認証」技術を活用した新製品「AsReader GoMA」の販売を開始しました。第18期においては、第17期に設立した子会社である株式会社自動レジ研究所において自動認識技術及び重量センサーの技術を活用したセミセルフレジの開発及び販売を開始する予定です。その実証実験を行う店舗として、滋賀県にうどん屋「こがね製麺」を開店し、実験を行っております。

バーコードリーダー、RFIDリーダー／ライター、赤外線通信リーダーなどの既存製品については、自動販売機メーカー、物流業界、小売業界、医療業界を中心に大型案件の成約を見込んでおります。海外展開につきましては、米国子会社では物流業界、製造業界、医療業界を中心に新規大型案件の獲得を目指しております。

このような環境の中、翌連結会計年度（2024年8月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高2,645,357千円（前年同期比50.3%増）、営業利益100,592千円（前年同期は192,078千円の営業損失）、経常利益96,992千円（前年同期は179,540千円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益67,411千円（前年同期は170,071千円の親会社株主に帰属する当期純損失）を予想しております。

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1 US\$=145円を想定しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきまして日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	936,086	251,715
売掛金及び契約資産	328,675	267,541
商品及び製品	276,415	646,343
原材料及び貯蔵品	44,080	33,332
未収還付法人税等	—	67,441
その他	70,723	121,882
貸倒引当金	△2,905	△3,222
流動資産合計	1,653,075	1,385,034
固定資産		
有形固定資産		
建物	—	484,953
減価償却累計額	—	△6,466
建物(純額)	—	478,487
建物附属設備	1,993	166,821
減価償却累計額	△642	△8,000
建物附属設備(純額)	1,351	158,820
構築物	—	18,101
減価償却累計額	—	△609
構築物(純額)	—	17,492
車両運搬具	641	641
減価償却累計額	△641	△641
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	134,086	187,550
減価償却累計額	△122,926	△143,449
工具、器具及び備品(純額)	11,160	44,100
土地	292,589	292,589
建設仮勘定	380,076	—
有形固定資産合計	685,177	991,490
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	104,000	205,250
繰延税金資産	48,914	67,243
その他	11,146	33,985
貸倒引当金	△355	△355
投資その他の資産合計	163,705	306,123
固定資産合計	866,477	1,334,263
資産合計	2,519,553	2,719,298

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当連結会計年度 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	163,265	129,468
短期借入金	—	460,000
未払金	35,601	63,847
未払法人税等	116,868	21,395
契約負債	53,619	32,474
賞与引当金	43,710	53,036
製品保証引当金	17,245	9,036
受注損失引当金	4,781	1,765
その他	10,597	11,726
流動負債合計	445,689	782,750
固定負債		
資産除去債務	1,643	1,643
固定負債合計	1,643	1,643
負債合計	447,333	784,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	789,412	804,937
資本剰余金	779,412	794,937
利益剰余金	501,633	331,562
株主資本合計	2,070,458	1,931,437
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,761	3,467
その他の包括利益累計額合計	1,761	3,467
純資産合計	2,072,219	1,934,904
負債純資産合計	2,519,553	2,719,298

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
売上高	2,407,387	1,759,851
売上原価	1,320,359	1,193,691
売上総利益	1,087,027	566,159
販売費及び一般管理費	686,823	758,238
営業利益又は営業損失(△)	400,204	△192,078
営業外収益		
受取利息及び配当金	122	222
雑収入	1,286	2,575
為替差益	72,243	11,775
営業外収益合計	73,653	14,573
営業外費用		
支払利息	23	897
貸倒引当金繰入額	—	1,137
雑支出	108	—
営業外費用合計	132	2,034
経常利益又は経常損失(△)	473,724	△179,540
特別利益		
補助金収入	981	2,061
特別利益合計	981	2,061
特別損失		
固定資産除却損	0	66
特別損失合計	0	66
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	474,706	△177,545
法人税、住民税及び事業税	152,703	10,855
法人税等調整額	△539	△18,329
法人税等合計	152,164	△7,473
当期純利益又は当期純損失(△)	322,542	△170,071
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	322,542	△170,071

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	322,542	△170,071
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,064	1,706
その他の包括利益合計	△2,064	1,706
包括利益	320,477	△168,365
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	320,477	△168,365
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	150,000	140,000	179,091	469,091
当期変動額				
新株の発行	639,412	639,412		1,278,825
親会社株主に帰属する当期純利益			322,542	322,542
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	639,412	639,412	322,542	1,601,367
当期末残高	789,412	779,412	501,633	2,070,458

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,825	3,825	472,917
当期変動額			
新株の発行			1,278,825
親会社株主に帰属する当期純利益			322,542
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,064	△2,064	△2,064
当期変動額合計	△2,064	△2,064	1,599,302
当期末残高	1,761	1,761	2,072,219

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	789,412	779,412	501,633	2,070,458
当期変動額				
新株の発行	15,525	15,525		31,050
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			<u>△170,071</u>	<u>△170,071</u>
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	15,525	15,525	<u>△170,071</u>	<u>△139,021</u>
当期末残高	804,937	794,937	<u>331,562</u>	<u>1,931,437</u>

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,761	1,761	2,072,219
当期変動額			
新株の発行			31,050
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			<u>△170,071</u>
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,706	1,706	1,706
当期変動額合計	1,706	1,706	<u>△137,315</u>
当期末残高	3,467	3,467	<u>1,934,904</u>

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	474,706	△177,545
減価償却費	18,570	48,996
補助金収入	△981	△2,061
受注損失引当金の増減額(△は減少)	4,780	△3,016
製品保証引当金の増減額(△は減少)	6,061	△8,208
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,600	316
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,964	9,608
受取利息及び受取配当金	△122	△222
固定資産除却損	0	66
支払利息	23	897
売上債権の増減額(△は増加)	△159,618	63,566
棚卸資産の増減額(△は増加)	297,585	△357,834
仕入債務の増減額(△は減少)	△78,623	△44,088
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△16,082	△129,885
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△73,986	36,873
未払金の増減額(△は減少)	△5,475	26,966
その他	△9,141	7,704
小計	462,260	△527,867
利息及び配当金の受取額	122	222
利息の支払額	△23	△1,018
法人税等の還付額	—	1
法人税等の支払額	△163,295	△160,898
補助金の受取額	981	2,061
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,046	△687,498
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△395,369	△351,789
投資有価証券の取得による支出	△104,000	△101,250
貸付けによる支出	△35,520	—
貸付金の回収による収入	23,425	12,095
無形固定資産の取得による支出	△9,049	△23,429
定期預金の払戻による収入	600	—
その他	1,245	△26,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	△518,668	△491,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△361,000	460,000
長期借入金の返済による支出	△137,232	—
株式の発行による収入	1,278,825	31,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	780,593	491,050
現金及び現金同等物に係る換算差額	25,394	3,121
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	587,364	△684,370
現金及び現金同等物の期首残高	348,721	936,086
現金及び現金同等物の期末残高	936,086	251,715

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別にセクション(部署)を置き、包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。

したがって、当社は、扱う製品・サービス別に「AsReader事業」「システムインテグレーション事業」の2つを報告セグメントとしております。

「AsReader事業」は、スマートフォンやタブレットに代表される「モバイル」による業務改革をコンセプトにしたハードウェア製品と、当社独自の画像認識技術やAI技術を用いたソフトウェアとしての製品・サービスの開発及び販売を行っている事業です。「システムインテグレーション事業」は、AsReader導入などに関わるソフトウェアの受託開発を中心とした事業です。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	AsReader事業	システムイン テグレーション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,992,388	414,998	2,407,387	2,407,387	—	2,407,387
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,992,388	414,998	2,407,387	2,407,387	—	2,407,387
セグメント利益	576,753	29,153	605,906	605,906	△205,702	400,204
セグメント資産	577,504	102,825	680,330	680,330	1,839,222	2,519,553
その他の項目						
減価償却費	16,814	457	17,271	17,271	1,298	18,570
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	15,566	492	16,059	16,059	380,217	396,276

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△205,702千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額1,839,222千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、研究所用土地、研究所にかかる建設仮勘定、投資有価証券、繰延税金資産、等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額380,217千円は、主に研究所にかかる建設仮勘定であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント負債については、事業セグメントに負債を配分していないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	AsReader事業	システムイン テグレーション 事業	賃貸事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,344,608	409,716	5,526	1,759,851	1,759,851	—	1,759,851
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,344,608	409,716	5,526	1,759,851	1,759,851	—	1,759,851
セグメント利益又は損 失(△)	△33,514	40,657	△1,382	5,759	5,759	△197,838	△192,078
セグメント資産	936,676	106,869	184,283	1,227,830	1,227,830	1,491,467	2,719,298
その他の項目							
減価償却費	37,959	3,661	3,946	45,568	45,568	3,428	48,996
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	85,883	54	188,230	274,168	274,168	89,523	363,691

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△197,838千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額1,491,467千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、研究所用土地、研究所にかかる建物、建物附属設備、構築物、投資有価証券、繰延税金資産、等であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額89,523千円は、主に研究所にかかる建物、建物附属設備、構築物の増加と研究所の完成に伴う建設仮勘定の減少の差額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
 3. セグメント負債については、事業セグメントに負債を配分していないため、記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アメリカ	その他	合計
1,685,178	688,744	33,463	2,407,387

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が連結貸借対照表の有形固定資産の額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Unitech America, Inc.	586,140	AsReader事業
ソフトバンク株式会社	245,035	AsReader事業
株式会社NIP	245,000	AsReader事業

当連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アメリカ	その他	合計
1,524,939	224,940	9,970	1,759,851

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の額が連結貸借対照表の有形固定資産の額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ソフトバンク株式会社	264,594	AsReader事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり純資産額	293.71円	272.16円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	46.82円	△24.01円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	45.06円	－円

(注) 1. 当社は2021年11月26日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	322,542	△170,071
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	322,542	△170,071
普通株式の期中平均株式数(株)	6,889,230	7,084,169
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	－	－
(うち支払利息(税額相当額控除後)(千円))	－	－
普通株式増加数(株)	268,877	－
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	－	－
(うち新株予約権(株))	268,877	－
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権4種類(新株予約権の数289,400個)。	新株予約権 種類(新株予約権の数227,400個)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。